

APPLIC会員 各位

APPLIC 事務局
相互接続確認イベント事務局2019年度 APPLIC主催「相互接続確認イベント（第16期）」 参加募集について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

APPLIC標準推進委員会 準拠確認及び相互接続性検証検討タスクフォース(TF)では、「地域情報プラットフォーム準拠確認及び相互接続確認仕様」に基づく、第16期の相互接続確認イベント（2020年1月末～2月初）を開催いたします。

今回の相互接続確認イベントの対象標準バージョン、製品カテゴリは、以下となります。

◎対象標準バージョン：

地域情報プラットフォーム標準仕様書： APPLIC-0002-2018、APPLIC-0002-2019

◎製品カテゴリ

サービス基盤製品、自治体業務アプリケーションユニット製品、GISユニット製品、
GIS共通サービス利用機能を備える製品、
教育情報アプリケーションユニット製品（小中学校版、高等学校版）、
避難行動要支援者名簿管理ユニット製品、被災者台帳管理ユニット製品、
避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対し情報提供できる製品

なお、今回の相互接続確認イベントへの参加条件は、以下を満たす団体としております。

◎参加条件：

条件1：APPLIC普通会員（普通会員登録予定を含む）メンバであり、

準拠確認及び相互接続性検討タスクフォース(TF)に参加登録していること（★1）

条件2：イベント実施の前までに、準拠確認及び相互接続性検討TFの下に

設置される相互接続確認イベント会議に参加すること（★2）

条件3：イベント実施の前までに、対象標準バージョンへ対応した製品の
準拠登録を完了していること（★3）

条件4：地域情報プラットフォーム準拠確認および相互接続確認仕様V3.4に記載
PF相互接続確認仕様で規定したテスト環境を準備できること

条件5：イベントに係るプロセス（準備、実施時等）において知り得た情報については、
本イベント内の利用に限ることとし、責任をもって取り扱いできること

条件6：APPLICによる相互接続確認成功のプレスリリースに、企業名を
記載するための社内確認が取れること

※上記、条件1～6をすべて満たすことを相互接続確認イベント参加条件とします。

（★1） 準拠確認及び相互接続性検討TFへの出席を推奨しますが、必須ではありません。
なお、賛助会員から普通会員に変更される場合、年会費が異なります点に
ご留意ください。

（★2） 相互接続確認イベント会議には、必ず一名以上の参加を必須とします。

（★3） 準拠登録済み製品にバージョンアップが発生した場合、新しく準拠登録を行う
必要があります。準拠登録されている指定バージョンの製品が、イベント時に
持ち込まれた相互接続確認の対象製品であるかをイベント開催時に確認いたします。

また、今回の相互接続確認イベントの開催条件は、以下の通りとさせていただきます。

サービス基盤製品、自治体業務アプリケーションユニット製品、GIS ユニット製品、GIS 共通サービス利用機能を備える製品、教育情報アプリケーションユニット製品においては、製品カテゴリ毎に 3 団体以上の参加申し込みがあること

避難行動要支援者名簿管理ユニット製品、被災者台帳管理ユニット製品、避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対し情報提供できる製品においては、避難行動要支援者名簿管理ユニット製品または被災者台帳管理ユニット製品で合わせて 2 団体以上が参加し、かつ、避難行動要支援者名簿管理ユニット及び被災者台帳管理ユニットに対して情報提供できる製品で同じ種類の情報をエクスポートできる製品で 2 団体以上の参加申し込みがあること

参加を希望される団体様は、前頁の参加条件と次頁以降に掲載する計画、留意事項およびテスト範囲をご確認いただき、添付の「APPLIC 2019 年度相互接続確認イベント第 16 期 参加申込書」に記入の上、参加のお申し込みをお願いいたします。

なお、その際、添付のアンケートにご回答下さいよう、お願い申し上げます。

また、第 16 期の相互接続確認イベントの第 1 回会議を、12 月 17 日(火) 午後開催を予定しております。参加登録いただいた団体様の担当者へ、開催案内を別途送付いたします。

参加のお申し込みは、11 月 29 日(金) 12:00 までにお願いいたします。

回答先：（第 16 期）相互接続確認イベント事務局 宛

メールアドレス：itevent2019-jimu@aplic.or.jp

上記メールアドレスへ参加のご連絡を頂いた場合、相互接続確認イベント事務局（準拠確認及び相互接続性検討 TF リーダが担当）から、参加受付の連絡を回答いたします。

2019年度 APPLIC主催「相互接続確認イベント（第16期）」の計画

◎日程 :

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ・ 11月19日(火) 午後 | 説明会(初参加の団体/担当者の希望者) (*1) |
| ・ 11月29日(金) 12:00 | 募集締め切り (*2) |
| ・ <u>12月6日(金) 17:00頃</u> | <u>開催条件確定のご案内(*3)</u> |
| ・ 12月17日(火) 午後 | 第1回相互接続確認イベント会議(*4) |
| ・ 1月16日(木) 午後 | 第2回相互接続確認イベント会議(*4) |
| ・ 1月29日(水)、30日(木)、31日(金) | 相互接続確認イベント本番(*5) |
| ・ 2月5日(水)、6日(木)、7日(金) | 相互接続確認イベント予備日(*5) |
| ・ 2月10日(月) 午後 14:00-15:30 | 成果報告会 |
| ・ 2月10日(月) 頃 | APPLIC成功申請 |

(*1) 詳細は、「2019年度 相互接続確認イベント説明会 募集案内」をご参照ください。

(*2) 募集締め切りの11月29日12:00時点で開催条件を満たす団体数に満たない製品カテゴリについては、1週間の間、標準推進委員会配下のWGやTFを通して参加を呼びかけて、調整を行います。

(*3) 募集締め切り後の調整を経て、開催条件を確定し、第1回イベント会議の開催案内をメールにて送付いたします。開催条件を満たさない製品カテゴリでの参加申し込み団体には、不成立のご案内をメールにて送付いたします。

(*4) イベント会議では参加団体間の調整を行うため、相互接続を実際に担当される方の参加を必須とします。また、参加人数が多い場合は、製品カテゴリ別に二部構成とすることを想定しています。実際の時間帯は、開催案内をご確認ください。

(*5) 相互接続確認イベント本番として予定している日程のいづれかで基本的にすべての相互接続確認を実施し、予備日としている日程では、実施しきれない相互接続確認他を実施することを想定しております。具体的な計画は会議にて調整します。

留意事項

- 1) インターネット上のクラウドで提供される製品で参加される場合は、イベント本番では、インターネット接続できる接続先を用意してもらうこと、もしくは相当の回避策が必要となります。
- 2) イベント参加団体が主体となり、分担して作成いただきたい資料があります。分担の内容については、第1回相互接続確認イベント会議にて、参加団体間で調整していただきます。
 - 2-1) サンプルデータ
 - 2-2) 相互接続確認の実施手順書
- 3) 次頁以降に掲載しているテスト範囲のうち、L1-業務1, L1-業務2, L2-業務1, L2-業務2の実施において、サービス基盤製品のうちで統合DB製品、および自治体業務アプリケーションユニット製品については、相互接続確認を行う際に、他の自治体業務アプリケーションユニット製品のインターフェースを呼び出すことをお願いすることができます。
- 4) 次頁以降に掲載しているテスト範囲のうち、L2-業務2の実施において、イベント本番における相互接続確認の組合せや作業時間の都合により、統合DB製品のすべてのインターフェースについて相互接続確認を行えない場合があります。この場合、相互接続確認の成功の扱いは限定つきとなります。【ご参考】過去実績：最大3ユニット、7インターフェース
- 5) 地域情報プラットフォーム標準仕様書 APPLIC-0002-2019 の教育情報アプリケーションユニット標準仕様「校務基本情報データ連携 小中学校版」については、V2.0 を対象としますので、製品の対応状況をご確認ください。なお、特に V1.2 で準拠登録されている製品の相互接続確認をご希望の場合は、地域情報プラットフォーム標準仕様書 APPLIC-0002-2018 をご指定ください。

◎テスト範囲：2019年11月、準拠確認及び相互接続性検討タスクフォースにて承認された
以下の相互接続確認テストモデル（1/2）

サービス基盤製品	
L1-IT1	PF通信機能を別のPF通信機能が呼び出すテスト
L1-IT2	統合DB機能をPF通信機能が呼び出すテスト
L1-IT3	BPM機能をPF通信機能(BPM機能呼び出し役)が呼び出すテスト
自治体業務アプリケーションユニット製品	
L1-業務1	提供側自治体業務アプリケーションユニットをPF通信機能(各種製品)が呼び出すテスト
L1-業務2	統合DB機能を利用側自治体業務アプリケーションユニットが呼び出すテスト
L1-業務3	BPM機能からPF通信機能(自治体業務アプリケーション(GIS)ユニット製品内)を呼び出すテスト
GISユニット製品	
L1-業務4-2	GIS共通サービス利用機能からGISユニット製品のインターフェースを呼び出す (簡易な接続確認に相当するレベル)
L1-業務4-3	GISユニット同士のデータ交換
教育情報アプリケーションユニット製品	
L1-業務5-1	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版 製品間、同種の業務 ユニット間、でデータ交換を行う
L1-業務5-2	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 高等学校版 製品間、同種の業務 ユニット間、でデータ交換を行う
GIS-防災・業務システム連携製品	
L1-業務7-1	GIS-防災・業務システム連携製品間のファイル形式のインターフェースを利用したデータ交換 (エクスポート側:最低1種類のファイル形式を団体の異なる2製品以上とデータ交換) (インポート側:団体の異なる2製品以上とデータ交換(ファイル形式は同一のもの。))

◎テスト範囲：2019年11月、準拠確認及び相互接続性検討タスクフォースにて承認された
以下の相互接続確認テストモデル（2/2）

サービス基盤製品	
L2-IT1	PF通信機能を別のPF通信機能が呼び出すテスト(SSL、添付ファイル)
L2-IT3	BPM機能をPF通信機能(BPM機能呼び出し役)が複雑に呼び出すテスト
自治体業務アプリケーションユニット製品アプリケーション	
L2-業務1	提供側自治体業務アプリケーションユニットの全インターフェースをゼロ件呼び出しも含め呼び出すテスト
L2-業務2	統合DBがサポートしている自治体業務アプリケーションユニットの全インターフェースをゼロ件呼び出しも含め呼び出すテスト
GISユニット製品	
L2-業務4-2	GIS共通サービス利用機能からGISユニットのインターフェースを呼び出す (必須、及び準拠登録の全IF) <input type="checkbox"/> 地名辞典サービス(登録、更新、削除含む) <input type="checkbox"/> 地図表示サービス【準拠登録している全IF】
教育情報アプリケーションユニット製品	
L2-業務5-1	教育情報アプリケーションユニット 校務基本情報データ連携 小中学校版 製品間、 同種の業務ユニット間、で複数種類のデータのデータ交換を行う(複数種類のうちにはなんらかの異常を含むデータも対象とする)
教育情報アプリケーションユニット製品と自治体業務アプリケーションユニット「20.就学」製品	
L2-業務6	自治体業務アプリケーションユニット、「20.就学」と教育情報アプリケーションユニット、「AK01.学習者情報」間でデータ交換を行うテスト

以上